

CASBEE-建築(新築)2014年版
福岡空港貨物施設移転整備事業 国内貨物上屋

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境			0.32		-			3.2
1 音環境		3.3	0.15		-			3.3
1.1 騒音		3.0	0.40		-			
1.2 遮音		3.4	0.40		-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-			
2 界壁遮音性能	2階事務室(2A): Dr値=40	4.0	0.40		-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-		-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-		-			
1.3 吸音	2階事務室(2A): 床タイルカーペット、天井岩綿吸音板	4.0	0.20		-			
2 温熱環境		2.7	0.35		-			2.7
2.1 室温制御		2.5	0.50		-			
1 室温		3.0	0.38		-			
2 外皮性能	複層LowEガラスを採用、適切な断熱計画	4.0	0.25		-			
3 ゾーン別制御性		1.0	0.38		-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20		-			
2.3 空調方式		3.0	0.30		-			
3 光・視環境		2.9	0.25		-			2.9
3.1 昼光利用		1.8	0.30		-			
1 昼光率		1.0	0.60		-			
2 方位別開口		-	-		-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-			
3.2 グレア対策		4.0	0.30		-			
1 昼光制御	2階事務室(2A): ブラインド+庇	4.0	1.00		-			
3.3 照度		3.0	0.15		-			
3.4 照明制御		3.0	0.25		-			
4 空気質環境		4.1	0.25		-			4.1
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材をほぼ全面的に使用	4.0	1.00		-			
2 アスベスト対策		-	-		-			
4.2 換気		3.6	0.30		-			
1 換気量	1.4倍以上確保	5.0	0.33		-			
2 自然換気性能		3.0	0.33		-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-			
4.3 運用管理		5.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視		-	-		-			
2 喫煙の制御	喫煙室は天井裏まで区画し負圧に保つなど十分な対策を実施	5.0	1.00		-			
Q2 サービス性能			0.30		-			3.4
1 機能性		3.0	0.40		-			3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.40		-			
1 広さ・収納性	事務室: 12m ² /人以上確保	5.0	0.33		-			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33		-			
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化基準を満たす	4.0	0.33		-			
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30		-			
1 広さ感・景観	事務室: CH=2.7m以上	4.0	0.33		-			
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33		-			
3 内装計画		1.0	0.33		-			
1.3 維持管理		3.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	便所の壁・床に防汚性建材を採用	4.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
3 衛生管理業務		-	-		-			
2 耐用性・信頼性		3.5	0.30		-			3.5
2.1 耐震・免震		3.8	0.50		-			
1 耐震性	1.25倍の耐震性能	4.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床タイルカーペット20年、壁塗装(下地共)20年、天井ホード類30年	5.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水汚水雑排水管の主要3種についてB以上、Eを不使用	5.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.9	0.30	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上確保	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	工)1階:壁長さ比率=0.10、事)2階:壁長さ比率=0.20	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			4.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	天井点検口、壁内PF管・ケーブルラック・天井内転シ配線の採用	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	天井点検口、壁内PF管・ケーブルラック・天井内転シ配線の採用	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38	-	-	2.0
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.69	4.0	0.04	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用		トップライト・ハイスайдライトを採用	4.0	0.12	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		BEI _m 非住宅 0.63 住宅(専有部) -	4.0	0.60	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		LED照明を採用	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			2.5	0.24	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		天井ボード、床タイルカーペット、ビニル系床材	5.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上で分別が容易、OAフロアの採用	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材はノンフロン製品を採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物に対して77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.7	0.33	-	-	3.7
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制	敷地内に駐車場を配置、搬入車両用スペース・経路考慮等	5.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	市の基準に即しゴミ量を推計、契約業者による有価物回収を計画等	4.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストの過半を満たす、広告物照明がない	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	